



管理ツール 操作マニュアル

S01-12 ファイル出力設定:PDF

株式会社 NTTデータ NJK

- ・このソフトウェアの著作権は、株式会社 NTT データ NJK にあります。
- ・このソフトウェアおよびマニュアルの一部または全部を無断で使用、複製することは法律で禁止されています。
- ・このソフトウェアおよびマニュアルは、本製品の使用許諾契約書のもとでのみ使用することができます。
- ・このソフトウェアおよびマニュアルを運用した結果の影響については、一切責任を負いかねますのでご了承ください。
- ・このソフトウェアの仕様およびマニュアルに記載されている事項は、将来予告なしに変更することがあります。
- ・このマニュアルで使用している画像には、開発中のものも含まれます。実際の製品と異なる場合がございますことをご了承ください。

DataNature および DataNature Smart は、株式会社 NTT データ NJK の登録商標です。
その他の商品名は、一般に各社の商標または登録商標です。

CONTENTS

マニュアルの表記.....	S01-12_0
1.DataNature Smart 全体概要図.....	S01-12_1
2.基本操作.....	S01-12_2
2-1 ジョブの作成.....	S01-12_2

マニュアルの表記

◆ 呼称について

本マニュアルでは以下の呼称を使用しています。

DataNature Smart 管理ツール :DN 管理ツール
DataNature Smart クライアント :DN クライアント

◆ 画面に表示されるコマンド名などの文字

コマンド名やダイアログボックス名など、画面上の固有の文字は [] で囲んで表記します。なお、ユーザーによって異なるデータボタンは < > で囲んで表記します。

【例】

[編集]コマンド、[検索]ダイアログボックス
<大阪営業所>データボタン

◆ マニュアルで使用しているアイコン



“注意”を意味します。

知っておくべき重要な事柄や行なってはならない操作など、注意すべきことについて記載されています。



“ポイント”を意味します。

操作や内容のポイントとなる事柄について記載されています。



“参考”を意味します。

知っておくと便利な操作や内容などのノウハウについて記載されています。



“参照”を意味します。

操作や内容に関連するマニュアルの参照ページについて記載されています。

◆ マニュアルで使用している画像について

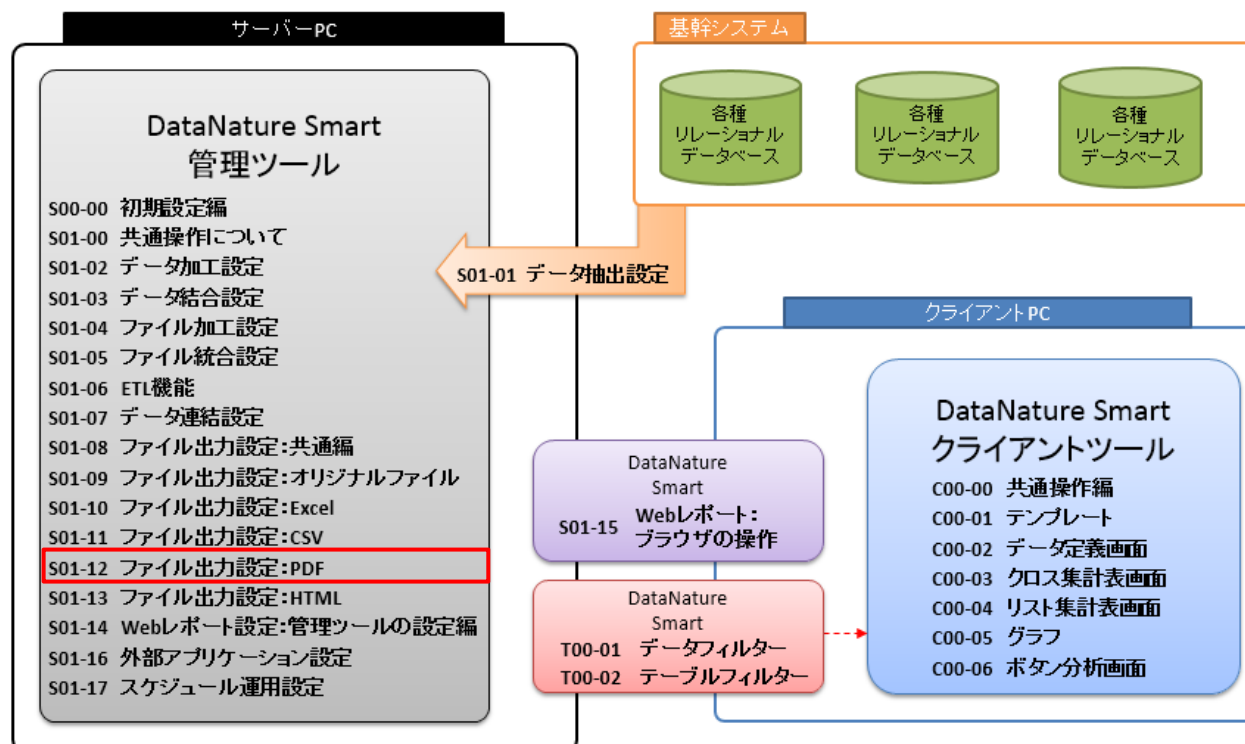
マニュアルで使用している画像には、開発中のものも含まれます。実際の製品と異なる場合がございますことをご了承ください。

◆ 機能について

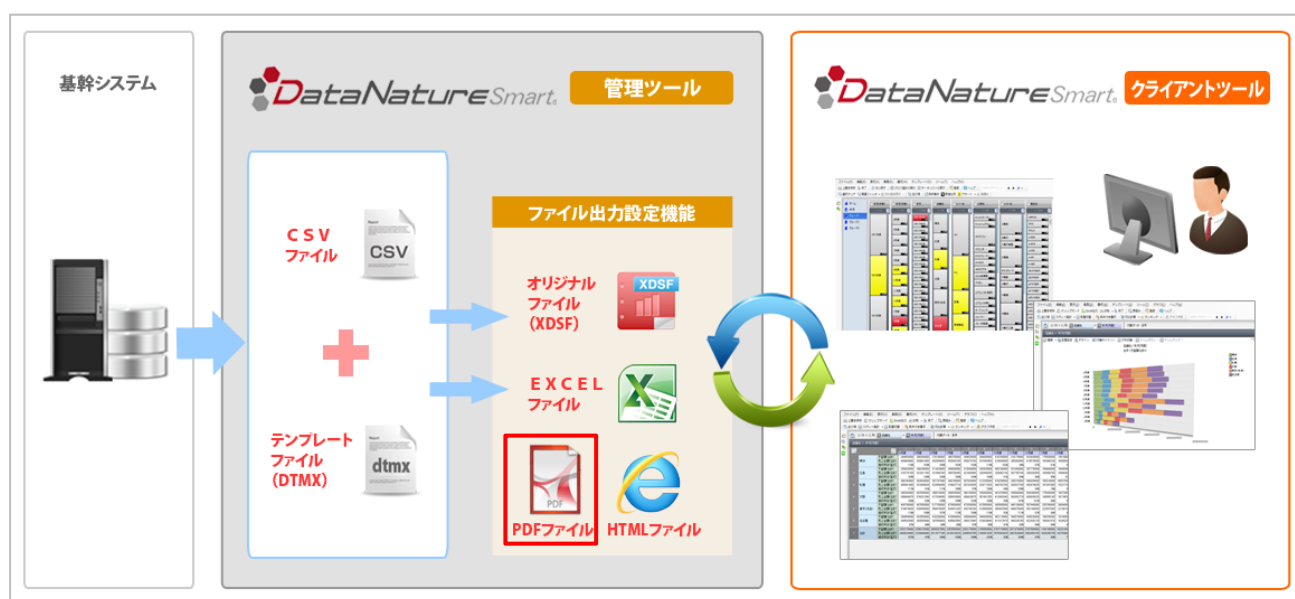
導入された製品構成によって、利用できない機能や制限があります。

1. DataNature Smart 全体概要

本マニュアルでは、S01-12 ファイル出力設定:PDF について記載しています。



クライアントで登録したテンプレートファイルを基に、最新のデータで PDF ファイルを自動生成します。



2. 基本操作

2-1 ジョブの作成

DN クライアントで登録した PDF 出力のテンプレート(クロス集計表、リスト集計表)を、最新の分析用データファイルに適用し、その結果を PDF ファイル形式(*.pdf)で任意のフォルダーへ自動出力します。



PDF ファイル出力設定を利用するには、事前に DN クライアントでテンプレート登録したテンプレートファイル(*.dtmx)を保存しておく必要があります。



DN 管理ツールの[DataNature の管理]-[ジョブ設定]ノードをクリックし、メニューバー[ジョブ設定]-[データ出力系作成]-[PDF ファイル出力設定]をクリックします。
([DataNature の管理]-[ジョブ設定]-[PDF ファイル出力設定]ノード上のコンテキストメニュー[新しいジョブ])

▼[PDF ファイル出力設定のプロパティ]ダイアログボックスが表示されます。

基ファイル	
テンプレートファイル	
パスワードの設定	
パスワードの設定方法	共通のパスワードに設定
オーナーパスワード	未設定
ユーザーパスワード	未設定
出力ファイルのバックアップ	バックアップしない
実行モード	通常

Buttons: 実行, テンプレート毎の設定..., OK, キャンセル

作成日: 2017/04/24 00:00:00 | 更新日: 2017/04/24 00:00:00



[ジョブ名:]テキストボックスに、ジョブ名を入力します。



[コメント:]テキストボックスに、PDF ファイルについての説明などを任意に入力します。



続いて、処理対象となるファイルを指定します。

基ファイル 分析対象のデータファイル(*.csv)を指定します。

テンプレートファイル 基ファイルに適用するテンプレートを格納しているファイル(*.dtmx)を指定します。



パスワードを設定します。ここでは、共通のパスワードを設定します。



パスワードの設定方法や種類については、ヘルプを参照してください。

◆パスワードを設定しない場合は、次の内容が表示されていることを確認して手順⑨に進んでください。

パスワードの設定	
パスワードの設定方法	共通のパスワードに設定
オーナーパスワード	未設定
ユーザーパスワード	未設定



[オーナーパスワード]欄の参照ボタンをクリックします。

▼[パスワード(PDFオーナー)の設定]ダイアログボックスが開きます。

- 8 [パスワード:]と[確認用パスワード:]を入力して、[OK]ボタンをクリックします。
- 9 ユーザーパスワードを設定する場合は、[ユーザーパスワード]欄の参照ボタンをクリックして、同様の手順で設定します。



オーナーパスワードとユーザーパスワードには、同じパスワードを設定できません。また、ユーザーパスワードだけを設定することもできません。



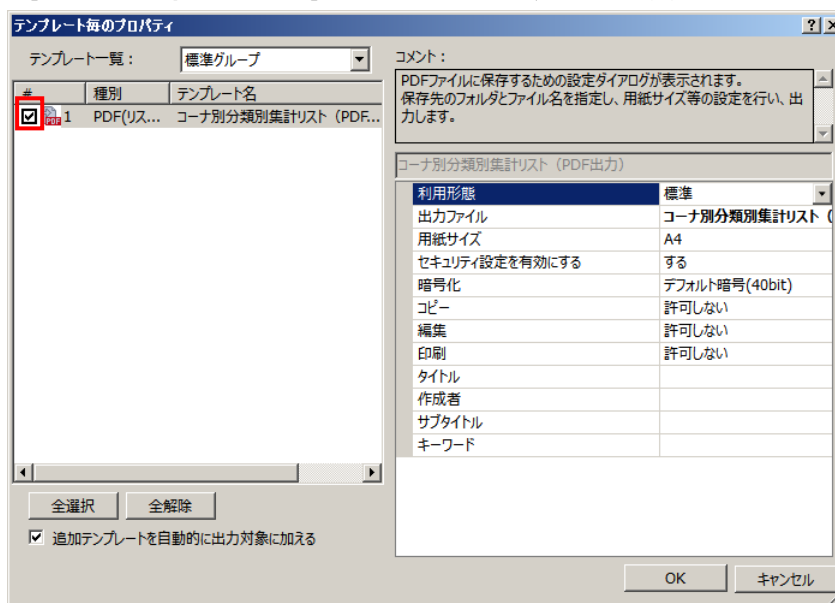
設定済みのパスワードを未設定に戻す場合は、[パスワードの設定]ダイアログボックスを開いて、パスワードと確認用パスワードを空白のまま[OK]ボタンをクリックします。

- 10 [実行モード]で、処理を実行するモードを通常/オンメモリモードから指定します。(オンメモリモードは、64bit モードでインストールしている場合のみ指定可能です。)



オンメモリモードは、メインメモリにデータファイルの内容を保持したまま処理を行なうモードで、処理を高速化します。
但し、一時フォルダーが SSD 上にある場合、効果はあまり期待できません。また、物理メモリが潤沢でない場合、メモリ不足が発生したり動作が遅くなる可能性があります。環境やデータによって効果は変動しますので、予めご注意ください。

- 11 [テンプレート毎の設定]ボタンをクリックします。
▼[テンプレート毎のプロパティ]ダイアログボックスが表示されます。



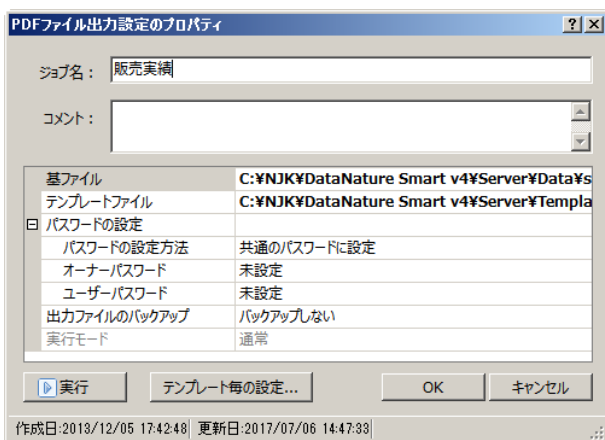
- 12 左側の[テンプレート一覧:]から、出力する PDF テンプレートのチェックボックスをチェックオンします。
[テンプレート一覧:]右横のドロップダウンリストから、テンプレートグループの指定が可能です。
- 13 テンプレートを選択すると、右側に出力用の設定画面が表示されます。以下を参考に、必要に応じて設定してください。

利用形態	標準
出力ファイル	コーナ別分類集計リスト (PDF出力) .pdf
用紙サイズ	A4
セキュリティ設定を有効にする	する
暗号化	デフォルト暗号(40bit)
コピー	許可しない
編集	許可しない
印刷	許可しない
タイトル	
作成者	
サブタイトル	
キーワード	

利用形態	Web レポートオプション導入時に表示されます。PDF ファイルそのものを出力する場合は「標準」を、Web レポートからリンクさせる場合は「Web レポート」を選択してください。
出力ファイル	出力する PDF ファイルの名称を入力します。
用紙サイズ	「A3」～「B5」の 5 種類のサイズから選択します。
セキュリティ設定を有効にする	パスワードや暗号化、コピーや印刷等の制限を有効に「する」、「しない」を選択します。
暗号化	暗号化の強度を「デフォルト暗号」、「高度な暗号」から選択します。
コピー・編集・印刷	PDF ファイルでの実行を「許可しない」、「許可する」から選択します。
タイトル・作成者・サブタイトル・キーワード	PDF ファイルの文書のプロパティに表示する内容を入力します。

- 14 出力する全てのテンプレートの設定が完了すれば[OK]ボタンをクリックします。

▼[PDF ファイル出力設定のプロパティ]ダイアログボックスに戻ります。



[実行]ボタンをクリックすると、[読み込み件数の設定]ダイアログボックスが表示され、件数を限定してテスト実行することができます。

- 15 設定が完了しましたので、[OK]ボタンをクリックし、ジョブを登録します。

▼[PDF ファイル出力設定プロパティ]ダイアログボックスが閉じ、管理ツールの画面に戻ります。設定した内容がプロパティ表示領域に表示されます。

